



# 二中だより

さどく うつくしく たくましく

天童市立第二中学校だより 第4号 令和8年6月11日 文責：校長 五十嵐由美子

## 「熱々盛々（あつあつもりもり）」 体育祭！

五月のさわやかな青空の下、5月28日(木)に体育祭が開催されました。

暑熱対策と、新しい学級の仲間とのつながりを深めるという目的で、2年前より、5月にクラスマッチ方式での体育祭をおこなっています。新学期が始まってから実行委員会を組織し、競技の内容やルールを決め、各クラスで役割や作戦を話し合い、そして、体育の時間に競技練習を行い、本番を迎えました。

競技はグラウンド、体育館、武道館を学年ごとローテーションして行いました。円陣を組んで気合をいれたり、クラスの仲間一人一人の名前を呼びながら応援したり、競技の合間に作戦を確認したり、各クラスとも全力で臨む姿に、二中学生のエネルギーを感じた時間でした。

午後の閉会式での結果発表では、全身で喜ぶ姿や、悔しがる姿…。悔し涙をこぼすのも、「自分のクラスが勝つのだ！」という強い思いの表れでしょう。勝利目指して全力で取り組んだことやクラスの仲間との結びつきが強くなったことに大きな価値があります。クラスの力が高まったと感じられたなら、この体育祭は大成功と言えるでしょう。

新学期が始まってからの短い準備期間でしたが、実行委員のみなさんは、自分のクラスをまとめ、競技の運営や準備・片づけをてきぱきと進めていました。ありがとうございました。



★クラスの自慢は「家族みたいに仲が良くて明るい」ところです。体育祭で3位になっても、みんな励まし合って心から笑っていたり、毎日助けあって明るく過ごしています。（1学年週末作文「クラスの自慢」より）

★学校行事を行う中で気づいた友達の良さは、誰がどんなミスをしたとしても責めないことです。例えば体育祭のリレーで自分がミスをしてしまった後に「大丈夫だよ」「いい走りだったよ」などと励ましてくれたことで、僕自身元気をもらいました。（3学年週末作文「体育祭や修学旅行を通して気づいた仲間のよいところ」より）

5月13日から2泊3日で、3学年の東京修学旅行がありました。

日本を動かす様々な議論が交わされる場所である国会議事堂、日本一高いタワーであるスカイツリーや水族館など東京ならではの場所を見学し、班別研修では自分たちで立てた計画にそって東京の街を歩きました。また、夕食後のホテルで伺った、ディズニーランド&シーの全スタッフの指導・育成を行っていた鎌田洋さんの講話から、たくさん大切なことを学びました。出会い、掃除の目的、学ぶこと、働くこと、夢の実現などなど、翌日のディズニーランドは、また違った視点を持って楽しい時間をすごしたことでしょう。

80名以上の中学生が、朝8時の通勤ラッシュ時に、日暮里駅から東京駅で乗り継ぎ千葉方面に向かう満員の JR で、一人としてはぐれることなく整然と移動したり、バスガイドさんの話によく反応し笑顔でやりとりしていたり、ホテルで外国人宿泊客と積極的に挨拶を交わしたり、楽しさに後ろ髪惹かれてもディズニー後の集合時刻にきっちりと全員整列完了したりと、さすが3年生と思う場面が沢山ありました。

この旅行での思い出と学びを、これからも大切にしていきたいと思います。



## 困った時、辛い時は・・・

1 学年「SOS の出し方講座」

6月1日(月)に山形県立保健医療大学の安保寛明教授を講師に、1学年の「SOS の出し方講座」を開催しました。「ストレス」やつらい時の対処法、つらそうな友達への声のかけ方など、自分自身や周りの人が生きやすくなるようなお話を聞くことができました。



### ☆☆☆ 生徒の感想より ☆☆☆

- ◆今回の授業を受けて、ストレスなどは自分一人で解決しようとしなくて誰かに相談することが大切だと気づきました。紙風船の例を見て、ひとりだけでは元にもどれないことを、誰かの助けを借りることで元通りの姿に戻せることがわかりました。
- ◆紙風船の表現がよくわかりました。自分も確かに困ったときに心と体のエネルギーが減る感じがするので、よくわかりました。
- ◆気分転換に好きなことをやってもストレスが溜まってしまうことを知り、驚きました。今度からストレスがたまってきたと感じたときは、信頼できる人に相談したいと思います。
- ◆何か辛いことや悩んでいることがあったら相談しようと思いました。何か悩んでいそうな友達がいたら「元気に起きられている？」と聞きたいと思います。